



「被害者が加害者にされた！ JR東日本武蔵小金井駅暴行事件」 懲戒処分取消等請求訴訟 **提訴！**

この間、JR東労組は被害者でありながら加害者とされたAさんの不当処分と不当転勤の撤回を求め、団体交渉等での解決を図るために労使協議を行いました。

しかし会社は、「再調査はしない」「賞罰やプライバシーに関する議論は団体交渉に馴染まない」「正当防衛の判断は団体交渉では出来ない」と回答したため、団体交渉を打ち切らざるを得ませんでした。

よって、2025年1月31日、Aさんは労使の話し合いでは問題は解決できないとして、自身の懲戒処分と出向の取り消し、処分によって生じた損害の賠償、管理者の暴行や意に反する反省文強要についての損害の賠償を求め、JR東日本と加害者である管理者を被告として、東京地方裁判所に提訴しました。

同日、AさんとJR東労組は共同記者会見を行い、懲戒処分と出向の取り消しを求めていること、健全なJR東日本を作るために提訴したこと等を訴えました。



JR東労組はAさんと共に闘い抜きます！

他人事ではない！

安全・安心な職場をつくるために

立ち上がったAさんと連帯してたたかおう！

**不当・不法行為を
容認する経営姿勢を
許してはいけません！**